

チベットを救え！

中国政府によるチベット弾圧への抗議デモ



FREE TIBET IN NAGOYA

中国政府によるチベット人への人権無視の弾圧・虐殺行為を停止し、チベットの人々が普通に暮らせることを求めるデモ行進を行います。

名古屋での抗議行動に向けて～在日チベット人からのメッセージ

『自分は日本の法律が分からないから、日本人の力を借りないし、何もできないし、何をすればいいのかわからない。けれど、今回の名古屋でのアピール活動を、なんとか実現させたいと思っている。名古屋では結局、抗議活動は何もなかった、という、それは中国政府を喜ばせることになってしまうから。』

いま、声を上げることができるチベット人がどんどん減っている。それは、チベット人が弱いのではなく、中国政府のチベットへの圧力がとても大きいから。

チベット本土では、監視や締め付けがどんどん厳しくなって、ちょっとでも口実をみつめて、すぐに連行されて厳しく取り調べられ、当局が逮捕したい人の名前を言わせて、「ダライ一派だ」とでっちあげている。告げ口をしると薦めて、告げ口しなかったら後で「隠匿した、共犯だ」といって同じ罪を着せる。ネットカフェでスカイプしたとか、海外から国際電話の着信があったというだけで、警察に連れて行かれる理由になってしまう。

家族が海外にいるチベット人、国外に行ったことがあるチベット人はそれだけで既に「危険人物」としてマークされているから、チベット本土に家族がいる在日チベット人は、友人や家族の身に危険が及ばないために、心配でも電話も出来ないし、訴えたくても前に出られず、泣きながら耐えている。

それから、日本ではチベット人が「難民」として認められることがないから、日本での在留資格が不安定で、声を上げることができないチベット人もたくさんいる。

自分は1人きりだけど、自分の後ろには、何百人、何千人のチベット人がいて、その人たちの分も声を上げなければいけないと思っている。自分が目立ちたいとか格好つけたいとか全然思っていないで、自分はもともとは、子供の頃からずっと端っこのほうにいる性格だったし、口も日本語もうまくないし、間違っただけを言ってしまったらどうしようと思うと怖いし緊張するし、本当にいやだけど、でも自分が言わなかったら本当にチベット人として「チベットに平和を」と言う人がいなくなるんじゃないかと思って、やっている。そういう気持ちを、名古屋の人たちに伝えたい。』

『私自身もチベットで生まれたわけではありません。チベットは現在存亡の危機に曝されており、あと5年も経てばチベットは消滅しているかもしれない。そのような状況の中、私たちにはダライ・ラマしかいないんです。その現下もいまや74歳。仏教徒として、死を考へない訳にはいきません。もし時間が5年も経てば「既成事実」が「事実」となってしまう。そのためにも本当のパンチェン・ラマをチベット人に返していただきたい。私もいつかチベットの地を見てみたい。本当に時間がないんです。』

4月19日(土曜日) 13:00 集合
名古屋市中区矢場町 若宮大通公園

【主催者】「中国政府のチベット弾圧に抗議するデモ実行委員会」

今回の事件に対して立ち上がった市民が結成した会です。

あらゆる政治・思想・宗教団体、またはそれに準ずる組織とは一切無関係です。

チベットの平和を願う熱い思いだけを胸に「FREE TIBET in 名古屋」は動き出しました。皆さんの力を貸してください。一人でも多くの人に、この企画を伝えてください。私たちの声の後ろに言論の自由を奪われた、何百人・何千人のチベットの人達があります。名古屋と一緒に、命の叫びをつないでいきましょう!!



予定コース：若宮広場～久屋大通～
錦通芸文センター前～東新町交差点
～高岳・桜通り～大津通～若宮広場



<http://www9.atwiki.jp/freetibetnagoya/>